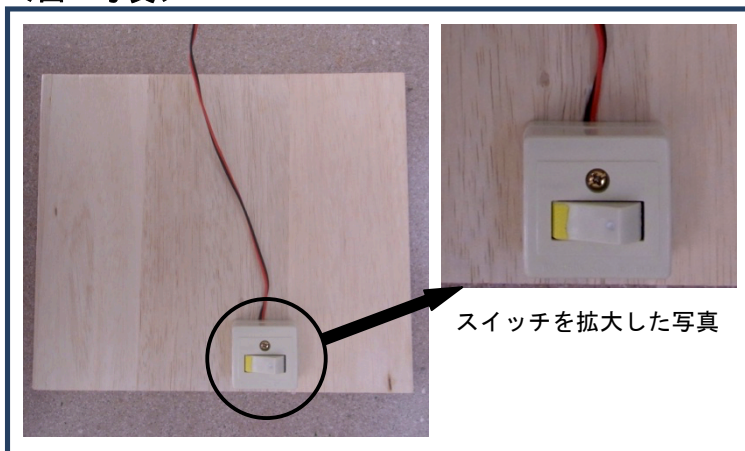


教材・教具名 : 片切りスイッチ

製作者 : 前岡

主な使用場面・領域・教科等 : 朝の会の司会などでのスイッチ操作

### <図・写真>



### <材料・製作方法等>

製作費 : 500円程度

材 料 : スイッチ, ケーブル, プラグ, 木材

スイッチにケーブルを取りつけ, 台となる木材に取り付ける。ケーブルの長さ等を調節し, プラグを取りつけて完成。制作時間は10~15分。はんだごてが無くても作成可能。

パソコン操作では OFF の時に画面が切り替わるため, ON の黒丸を消し, OFF 側にテープをつけた。

### <ねらい>

ビッグスイッチなどの押しボタンタイプのスイッチでは連打をしてしまう子どもに、「1回だけ押す」ことを意識できるよう、連打をしづらくする方法を模索して作成した。

### <指導方法・留意点等>

- ・ スイッチ操作の際に指先にある程度の力が入る必要がある。児童の実態によっては、向きを縦にするなどの工夫が必要である。
- ・ パソコンでマウスに接続して使用する際には、スイッチをオフにしたときに反応するようになっている。(マウスがボタンから離れる際に反応するようになっているため)

### <指導経過・成果・課題・展望等>

朝の会のプレゼン操作の際に、ビッグスイッチで連打をする傾向が見られ、何か改善できないか模索することにした。まず、直径15mmの「丸押しボタンスイッチ」(写真1)を試してみた。「よく見て押す」という意味では、効果があったが、少し慣れると連打できるようになってしまった。また、スイッチが切り替わる(オン・オフ)感触が弱かったため、もっといい方法を探していたところホームセンターで「角型タンブラスイッチ」(写真2)を見つけたため、それを使ってスイッチを作成することにした。

実際に使用してみると、まず、スイッチが切り替わる感触がはっきりした印象のスイッチを作成できた。また、3回切り替えないと次のプレゼンに切り替わらないため、「スイッチを押したら教師に渡す」と言った活動の指導がしやすくなった。

今回のスイッチを発展させるとすると、角型タンブラスイッチには2連タイプのものもあるようなので、2択から選ぶ学習が考えられる。しかし、パワーポイント等では作成が難しいため作成には時間がかかると思っている。「なぜ」スイッチ教材での学習を行うのかを頭に入れながら、児童に必要な手立てを今後も考えて取り組みたい。



丸押しボタンスイッチ



角型タンブラスイッチ